

リコーグループは、環境経営の実践を通じて 企業価値の向上を図っています。

環境経営の考え方

リコーグループは、環境への取り組みには「環境対応」「環境保全」「環境経営」の3つのレベルがあると考えています。「環境対応」は、法規制や他社動向などの外圧に応じた受け身の活動です。「環境保全」は、地球市民としての使命感に基づいた取り組みです。そして「環境経営」とは、単に環境に配慮した経営ではなく、環境保全と利益創出の同時実現を可能にする経営です。環境経営を実践することによって、はじめて企業として継続的に環境負荷を削減することが可能になります。リコーグループは、持続可能な社会づくりに向けた社会的課題を、自社の目標や行動計画に積極的に取り入れることが、長期的に企業価値の向上につながると考えています。

環境経営の実践

環境経営を実践するには、事業全体の環境負荷を把握し、目標を設定し、環境負荷の低減を通じて、コスト削減や付加価値の創造につなげるというPDCAサイクルを回すことが重要になります。そのためのツールとして、環境負荷情報を収集するための情報システムや、環境負荷と経済効果を評価するための環境会計やエコバランスの開発・改良に取り組んでいます。また、リサイクルや省エネを促進する環境技術開発に注力し、お客様の環境負荷やコストを削減することで、製品の付加価値を向上させ、社会全体の環境負荷低減に貢献しています。さらに、環境経営を効果的に推進するために重要なことは、グループ社員の意識を高めて参加を促すことです。環境視点による新しい付加価値を創出し続けていくためには、開発・製造・企画・販売、そして国内・海外すべての社員の参加が必要であり、世界中で環境教育や意識啓発を通じた企業風土づくりを積極的に進めています。

環境保全活動の3ステップ(環境対応から環境保全、そして環境経営へ)

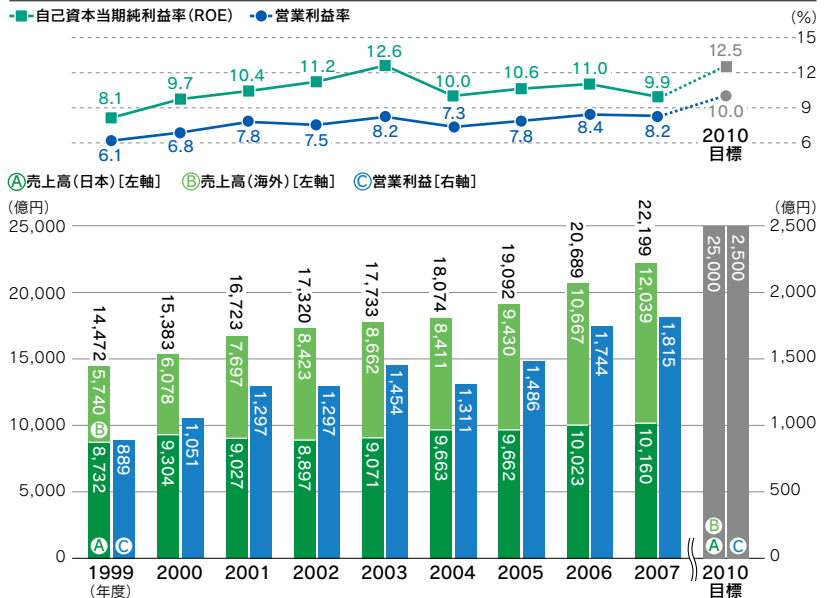
	環境対応	環境保全	環境経営
狙い(コンセプト)	圧力への対応 ・法規制 ・競合 ・お客様	地球市民としての使命 ・自主責任 ・自主計画 ・自主活動	環境保全と利益創出の 同時実現
活動内容	法規制、競合、 お客様に追随した 消極的な活動	1.高い目標を掲げた積極的な 地球環境負荷低減活動 ・省エネルギー ・省資源リサイクル ・汚染予防 2.社員一人ひとりの意識改革	環境保全活動 ≒QCD活動* 例) 部品点数削減 工程数削減 歩留り、稼働率向上
ツール		1.ISO14001 2.LCA 3.環境ボランティアリーダー 養成プログラム	1.戦略的目標管理制度 2.環境会計 3.環境経営情報システム

* 品質 (Quality)、コスト (Cost)、納期 (Delivery) の管理改善活動。

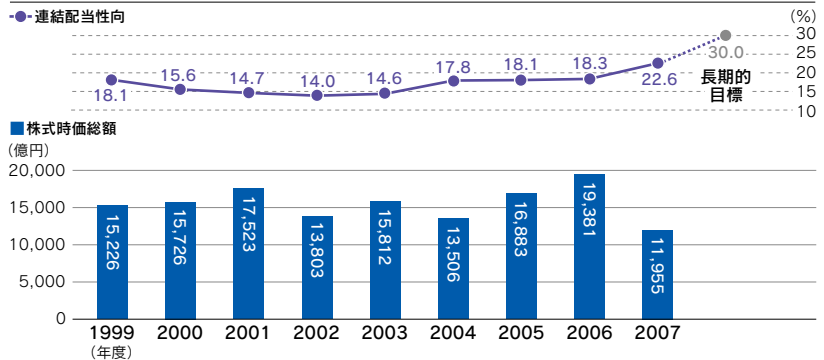
経済側面や、社会からの評価が示す 企業価値の向上

経営の主要戦略として、環境経営をグローバルに推し進めてきたこの間、リーグループの企業価値も大きく変化してきました。とくにこの10年間は、その成果が顕著にあらわれ、2006年度には海外売上比率が50%を超え、売上高が2兆円を突破しました。2007年度は14期連続増収を達成しました。また、日本経済新聞社の「環境経営度調査」で4度の第1位をはじめ、独エコム社の「企業の社会的責任格付」で世界第1位、カナダ・コーポレートナイツ社が評価し、世界経済フォーラム（通称ダボス会議）にあわせて発表される「世界で最も持続可能な100社」に4年連続で選ばれるなど、国内外から数々の高い評価をいただいています。

自己資本当期純利益率(ROE)/営業利益率/売上高/営業利益



連結配当性向/株式時価総額



社外からの評価

2003年 4月	第12回 地球環境大賞 大賞受賞。
2003年 5月	アジアの企業としてはじめてWEC (World Environment Center) ゴールドメダル受賞。
2004年12月	日本経済新聞社 第8回「環境経営度調査」第1位(4回目)。
2005年 7月	独エコム社「企業の社会的責任格付」で世界第1位(IT産業部門)。
2007年 6月	トーマツ審査評価機構による「環境格付」において3年連続最高ランクAAAの評価。
2007年 7月	第5回 日本環境経営大賞 環境経営パール大賞(最高賞)受賞。
2007年12月	J.D.パワー アジア・パシフィックによる日本の顧客満足度調査5部門で1位(カラー&モノクロ複写機/複合機、カラー&モノクロレーザープリンター、ソリューションプロバイダー(導入・構築))。
2008年 1月	「世界で最も持続可能な100社(グローバル100)」に4年連続選出。
2008年 1月	米イノベスト・ストラテジック・バリュー・アドバイザーズ社による「社会・環境格付」で最高ランクAAAの評価。